

2022 年度前期「学生による授業評価」に関する検討会

報告書

学科科目以外の科目

目次

総合教養科目<女性のウェルネス領域>担当者会	p. 1
キリスト教学科目運営委員会	p. 4
第一外国語運営委員会	p. 6
第二外国語運営委員会	p. 11
日本語科目運営委員会	p. 13
情報処理教育運営委員会	p. 14
教職課程運営委員会	p. 16
学芸員課程運営委員会	p. 17

報告日：2022 年 11 月 21 日

■検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	総合教養科目 「女性のウェルネス」領域
■責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	曾我芳枝
■検討会実施日	2022 年 10 月 23 日
■出席者数 (内、非常勤講師数)	11 名 (9 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

今期もコロナ禍にあり 5 月末まで 1 年次必修は、隔週遠隔・隔週対面授業を行い、その後は全対面授業を行いました。選択実技実習は対面授業のみ・選択講義は遠隔授業から全対面授業に移行しました。教員・学生共にコロナ感染防止に気を配りながらの授業実施となりました。

「自由記述欄の中で好評だった点」

1 年次必修

- ・この授業が、とてもためになり勉強になりました。役に立ちそうです。ただ運動するだけでなく、講義やエクササイズについての解説が良かったです。

- ・私は体育が苦手な実技で成績がついたりするのが嫌だったし、みんなの前で発表しなければいけなかったりと苦痛に感じることもありました。でも初回の授業で運動能力で判断しないとおっしゃってくれました。そのおかげで楽しく取り組むことができました。

- ・酷暑の時に授業内容を楽な運動に変更したのはとても良かったです。

- ・理論と運動をどちらも一回の授業に取り込んでいたのが良かったと思います。

- ・個人の能力にあった指導をして下さったのでとても助かりました。

運動が苦手な人でも楽しめる授業だったので良かったです。

- ・先生の説明がとても丁寧で分かりやすかったです。

- ・楽しく授業ができました。

- ・先生が優しく、いつもポジティブな声をかけてくださったので、授業を楽しむことができたところが良かったと思います。

- ・毎回の講義がとても楽しかったです。後期もよろしくお願いします。

- ・暑い時期の運動なので健康状態に配慮した授業が行われていて良かったです。

- ・毎回の授業が適度な運動時間になり、とても楽しく受けられました。

- ・先生が学生の立場に立って授業を進めてくださるので、毎回とても楽しく受講することができました。

- ・今までやったことのないようなスポーツにも触れられて楽しかったです。

- ・体育=体を動かす授業の概念を覆す授業で、先生の研究テーマに基づいたオリジナリティあふれる授業が毎週とても楽しみでした。

- ・編入で唯一 3 年生の私を、かなり気を遣って、接して下さったこと、配慮していただいたので、私もその気持ちに答えたくなり、授業に積極的に参加することが出来ました。感謝申し上げます。

選択講義科目

- ・扱う題材がどれも興味深く、学生が能動的に取り組めるような工夫が沢山なされていました。また機会があれば授業を受けさせていただけます。

- ・毎回授業内容にかかわる映像を見せて下さったおかげで、理解が深まった点が良かったと感じます。

- ・座学中心になりやすい時期に、身体を動かすことから始まるこの授業は、ありがたかったです。実生活に応用できることをたくさん学ぶことができました。

「学生の要望に対する回答」

・Aアリーナでレクチャーを受ける際、教員の声が離れた場所に座る学生に十分に届かないことがあったようです。

⇒これは声量や環境（広さ、空調音等）の問題というよりも、予め学生たちに講義を受けるに適した距離を取るよう伝えることで改善できると考えます。

・ペアを作るときに、こちらから組み合わせを指定してほしいという意見がありました。

⇒色々なバージョンを用意してグループ分け・ペア組みを考えていますが、確かにこちらから指定した方が効率が良いと考えました。

・もう少し早く授業を終わらせてほしいとの意見がありました。

⇒更衣室が密にならないためにも、もう少し余裕が必要だと感じました。

・コロナ感染の状況ではリスクを感じる競技は避けてほしいという要望がありました。

⇒どの競技とは書かれていませんでしたが、集団スポーツでゲームを行うことに不安がある学生がいると感じました。距離を保ち、声をださないなどの感染予防対策を十分に行います。

・授業の導入部分の話が長く感じました。実技の時間がもっと欲しかったので、あまり長くなると嬉しいです。

⇒体育館での授業の時は、教科書を使用した講義もすることにしていきます。講義は大切な授業内容ですので無くすことはできませんが、時間を上手く調整するようにして実技時間の確保もしていきます。

・体育館の反響がひどく指示が聞き取れないことがありました。

⇒マスクを使用していることも原因の一つかもしれません。また、体育館の反響の改善のために、マイクを使用したら改善するかもしれませんので次回は使用します。（前回の検討会で報告されており、改善されていますが、他のクラスでも適宜使用していきます）

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

「女性のウェルネス」では、授業改善に向けて継続的に学生の主体的な学習意欲を高めるための工夫について取り組んでいます。

具体的にそれぞれの授業で、以下のような工夫がされていました。

・チームで活動する際、既に親しい友人同士で自由に組んでもらう場合と、完全にこちらでシャッフルして組んでもらう場合を織り交ぜました。それによって身体を通じたコミュニケーションの様相や可能性について、奥行きをもって感じてもらう事ができたのではないかと思います。

・グループワーク。講義の授業の途中で取り入れると、ずっと黙って聞いているよりも内容が頭に入る様でした。体育実技では、様々なメンバーと交流することでコミュニケーション力が高められ、種目の中で自然と互いを高められるように持っていける様でした。

・実技（身体活動）の時間では、できるだけ各時間にリーダーを置いたことです。私とリーダーが一緒になり事前に授業の内容を考えたことで、履修生の皆さん目線での好ましい授業に繋がったものと考えます。また、リーダーになる履修生さんは、リーダーシップを育むことに繋がりました。これまでの高等学校での、特に「体育」の授業では、男女共習授業の場合、「男子」生徒が主役になり授業が進められる中で、「女子」生徒は脇役として位置づいていたと思われます。「体育」の授業でのリーダーシップの涵養は、当該履修生さんにも、その授業を一緒に受講する学生さんにも、「体育」にみられるジェンダー・バイアスを低下させる意味で有効であったと考えます。

・講義に関しましては、私の専門である「体育・スポーツとジェンダー」に関する授業が目新しかったようで、沢山の学びをしていただけたようです。また、教科書の内容についても教授させていただく中で、教科書の内容を発展させ、過去に女子大学生が残念ながら遭遇したトラブルの例などを盛り込むことで、「他人事」ではなく「自分事」として、授業に積極的に参加していただいたように思わ

れます。

- ・個人から質問を書面で提出してもらい、コメントを返す機会を設けると、学習意欲が高まるようです。
- ・高校などで行っていない種目にはとても興味を示しました。新しい種目に熱心に取り組んでいることを考えると、ニュースポーツ（生涯スポーツ）などは学生にとって、向いているかもしれません。
- ・体育（運動）が得意な学生と、不得意な学生がいます。特にこの2種類の学生に対する配慮を心がけました。
- ・チーム分けやコート割りをする際に、なにか共通点などがあり、連帯感が生まれやすいような分け方をするように工夫しています。新しい友だちもでき、取り組みも積極的になると思われます。
- ・ホワイトボードでその日の授業の流れを書いて、説明をして進めていきましたが、今後学生たちの理解をより深めていくために、要所要所でまとめを入れたり、整理するタイミングなどを入れていければよいと感じました。なかには、運動嫌いな学生もいるため、低強度の運動も混ぜていきたいと思います。
- ・毎週の授業の後に、受講記録・考察を Google Classroom に提出させています。スポーツ種目授業後には、スポーツ技術についてうまくいかなかったことやよくできたことを自己分析して、次回への目標を記述する学生も多いです。また、健康に関する講義後では、自分や家族の健康上の問題に関心を持ち、自分でさらにインターネット等で調べて考察する学生もいます。毎回、学習を振り返り文章化することが各自の問題への気付きにつながると考えます。
- ・学生が能動的に取り組めるよう、運動を習慣化できるように生活に密着した課題をだすようにしたところ、積極的な取り組みが見られました。
- ・講義の授業で、毎回授業のはじめに心と身体のウォーミングアップとして呼吸法や体操を行ったところとても好評でした。

報告日：2022 年 11 月 25 日

■検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	キリスト教学科目運営委員会
■責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	遠藤勝信
■検討会実施日	2022 年 11 月 24 日
■出席者数 (内、非常勤講師数)	3 名 (0 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

○以下のような感想が寄せられました：

- ・ 本学の教育基盤にあるキリスト教精神、また宗教についてきちんと学べて良かった。
- ・ 初回のクラスで行われたガイダンスでコースの全体像が明示されたことが、その後の履修の助けになった。
- ・ 毎回提出するコメントシートに、教員がコメントを付けて返すことが学習の励みになった。
- ・ 普段、あまり向き合う機会のない倫理的課題について学ぶことで、視野が広がった。
- ・ 毎回グループクラスにアップロードされる授業動画やレジメが授業の振り返りに役立った。
- ・ 教員が学生のコメントシートを熟読していることが授業内容に反映されていて励みになった。
- ・ 教員が分かりやすく噛み砕いて解説してくれて理解し易かった。
- ・ 実際に聖書を読みながら、解釈をいくため、キリスト教の魅力がよりわかるようになった。
- ・ 提示された資料が理解に役立った。
- ・ キリスト教をただの宗教としてではなく、人間観やその現代的意義など、現代の私たちにも影響する内容を知れて良かった。
- ・ キリスト教に抵抗なく楽しく授業を受けることができた。
- ・ 毎回の授業で書くコメントシートが試験のための準備の積み重ねになっていて良かった。

○授業の進め方や内容に対して好意的な意見が多くありました。今後も授業の助けになる資料を多く使い、またコメントシートの内容や質問をフィードバックして受講生の理解に役立てたいと思います。

○毎回のコメントシート (文字数 600~800 文字) の提出、礼拝レポート (3 回分)、期末レポートと課題が、他のクラスに比べて多いとの感想が寄せられたことに関してお応えします：①基本的にこれらの授業は統一シラバスを用いていますので、課題の分量に差はありません (但し、非常勤講師が担当する一クラスのみ課題が少なかつたかも知れませんが、次年度からは当該クラスでも同じ分量の課題を出して頂きます)。②コメントシートは、授業後に出して頂くリアクション・ペーパーです。学生がどの程度授業内容を理解したか、誤解はないか、質問や疑問点はないかを確認し、次回の授業に反映させるための対話ツールです。講義授業ですので、出来るだけ情報伝達が一方通行にならないために欠かせません。毎回、コメントシートに教員のコメントをつけてお返ししているのはそのためです。念のため、本授業のために学生が用いた学習時間を調べますと、全 2~4 時間と答えた学生が 11%で、全体の 8 割弱が 1~2 時間と答えていました。つまり実質的には然程負担になっていないことが分かります。キリスト教学のクラスは建学の精神を学びつつ、人格形成に繋げる学びです。砂地ではなく岩地に土台を据えていると理解し、積極的に課題と向き合って頂きたいと思えます。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

○同一科目 4 クラスでは統一シラバスを用いていますが、各担当教員が授業で課す課題に多少のばらつきがありましたので、次年度からは出来るだけ同じ分量の課題となるよう調整したいと思います。

○パワーポイントで作成した PDF をオンライン配布していますが、歴史における学術的な用語などを話す場合には、別途レジユメを作成し受講者が記述し易いよう、次年度以降善処します。

■検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	第一外国語委員会
■責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	委員長 川崎典子
■検討会実施日	2022 年 11 月 3 日
■出席者数 (内、非常勤講師数)	39 名 (28 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

- ・ A student said they liked the 5 minute break - yes, it's very useful. I am glad you found it so.
- ・ A student was hoping participation - such as speaking in class - would be noted more — I plan on trialing a better system; I may bring a paper roll in order to note students' positive actions more efficiently.
- ・ Students seemed generally happy, but one commented that they'd like me not to take my mask off—sorry about that!
- ・ Another was not clear what requirements there were for presentations but honestly I'm not sure I can improve on that as they're clearly marked in the syllabus and were repeated three times in class.
- ・ "I enjoyed class and the teacher is kind, but sometimes there were instances where it was 'cold.'" - I'm glad they enjoyed class and perhaps the 'cold' instances they are referring to was when I was offering constructive feedback/criticism to the class as a whole.
- ・ A student really liked the media discussion each week in small groups.
- ・ Another student said that even by the end of the course, she did not feel comfortable in discussion groups. I will try to change the groups more often this term and allow students to choose partners so that students can find classmates with whom they feel comfortable to speak.
- ・ I think the level of this class was kind of easy for me. I hope university will change the textbook that students use next year. →The textbook is under review. (Committee for the First Foreign Language Program)
- ・ クラス全員が和訳をしてきてそれを読み上げる作業はあまり効率的ではないと思いました。
→英語の単語や熟語にはたくさんの意味があり、どの意味を取るかによって、英文の意味自体が変わること、あるいは文脈も変えてしまうことがあります。また、文法の間違った理解も和訳に影響を与えます。英文を正しく和訳することは読解の基礎だと思います。
- ・ もう少し細かく文法の説明があってもいいと思いました。
→積極的に質問してください。受け身ではなく、自発的な授業参加を期待しています。
- ・ 生徒の回答に対して批判が多かったです。
→学びの場において、より望ましい回答がある場合は、それをクラスで共有する必要があります。
- ・ 授業は宿題の和訳読むだけで終わる感じがあります。正直新しいことを勉強できると感じていません。
→授業で新しいことを勉強できていないのはとても残念なことです。和訳後の授業内容の各項目について積極的に取り組んでみてください。必ず新しい発見があります。
- ・ 小テストを web class で少ない時間の中で実施するようになってから対面の時には満点を取れていたテストの点が半分以下になって納得がいかなかった。小テストが web class 実施の時は次から時間を長

くとると先生がおっしゃっていたが、制限時間は変わらず打ち込み終わらなかった。こちらとしては真剣に取り組んでいる小テストなのでおっしゃった約束は守ってほしいです。

→私のクラスでは、小テストは第一回から WebClass で受けて頂いています。対面で小テストを行ったことはありません。

・難しかったけれど楽しかったです。

→テキストを難しめのものにしたのですが、内容を楽しんでもらえて良かったと思います。多少速度を落としましたが、意欲的に考えながら授業に取り組んでくれたので、実力は確実に付いていると思います。

・授業中に必ず指名されるので、寝る隙が与えられず集中できました。

→気軽に答えられるように 1 人 2~3 回は発言する機会を設けていますが、確かに居眠りできないですね！達成感が得られていれば嬉しいです。

・PPT の文字が小さいというコメントがあり、出来るだけ大きくすると伝えました。

・他のクラスとの差が生まれないように、テスト形式を学年で統一して欲しい、というコメントがありましたが、レベル別に編成されている現状では無理があり、TOEIC 受験がその意味では共通テストと言えると解答しました。

・教科書のレベルが少々簡単でしたが文法の解説などは為になるものでした。解いてきた教科書の問題を一時間使って丸付けするのではなく、途中数回行ったライティングを中心とした授業が行われたら良かったと感じました。

→大変貴重なコメントありがとうございました。レベル 3 のクラスでしたが、指定の教科書は特定の専攻の学生には易すぎたと思います。Reading-Writing の両要素が盛り込まれた教科書でしたが、Writing の内容も簡単すぎて、この教科書を選んだことが申し訳ないくらいでした。投げ込み教材を少し入れて課題としましたが、そのような機会をもう少し多く持つべきでした。

・授業中、テキストのどこまで進んだかわからなくなる。

→ページ数を言う回数を増やしたいと思います。

・ I submitted my reports via email but the teacher often did not confirm my submission. The teacher should use a Cloud platform like Google Classroom.

→I will consider adopting this system.

・ I am dissatisfied with the lessons in other classes. When talking to my friends, I discovered that there is a difference in some class by some teacher when compared to other classes. The teacher's essays require fewer words than other classes. The teacher requires 500 characters but other classes requires 1500. Shouldn't the levels be decided in advance and be consistent across classes?

→This is not entirely true. Some of my essays required a larger word count. However, I am considering changing the textbook and teaching at a higher level of difficulty.

・ I was able to make good use of the essays I wrote, which were carefully corrected. However, I wanted more comments to improve the accuracy of my essays.

→I will consider giving more complete feedback on both content and grammar.

・ One student who felt uncomfortable with feedback in the classroom.

→I am sorry for this and will do more feedback individually.

・提出期限前に課題を提出しようとフォームを開いてもすでに回答が締め切られており、提出したくてもできないことが何度もあった。期限を設定するのであれば、その通りにしてほしいと思います。

→フォームの公開時に回答が締め切られていたことは数回ありましたが、いずれの場合も締め切りまでに回答可能な設定に変更しましたので、最終的に提出できないということはありませんでした。何か誤解があるのではないのでしょうか。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- I think I should bring in some handouts or show some visual perhaps.

I think I could try suggesting some out-of-class study, some TV show or film or other, perhaps.

- I have spent more time explaining the syllabus. I think I should consider setting up Google Classroom assignments for the writing homework tasks.

- More use of the screen.

- I think students seem very happy with the extra activities and games, so I'll definitely keep deploying those.

- More information regarding exams as it was a complete shambles. Have also increased students accountability for lesson content and understanding.

- I have been trying to increase the amount of time students can spend speaking and expressing themselves outside of the book.

- As much as possible, I try to explain concepts in simple, direct English. If that does not seem to be working, I will, as a last resort, use Japanese to explain.

- I sometimes went overtime by up to 5 minutes in previous classes, which a few students had commented on. I have tried to time activities more accurately and keep my eye on my watch.

- I speak slower and that seems to be working. I also leave more time for students to compute information and the 5-minute mid-class break has proved very useful.

- After reading the forms, I will communicate the lesson plan in a clearer way at the start of each class. Some students felt that the instructions were not clear enough.

- Emphasising the contiguity of skills.

- Based on the comments, I know which activities I can keep using. For the listening activities, I will raise the level for the second semester so as to continue challenging the students.

- Every semester, the level of students and their majors change, so I try to adapt the course to suit their needs, abilities, and interests. I am pleased to see the students found the course beneficial.

- Some teacher's listening log handout worked well in this class as additional motivation and material for students to improve their listening and summarizing skills. I adapted the handout and was happy to see students use the warm-up time every week to report on their listening log.

- I have rethought the structuring of the groups and the follow-up exercises according to the level of the students and make-up of the class.

- I had used Google Sheets to observe student homework, but many students sometimes had their work erased by other students, so I feel it is better this semester to actually have student turn in their work by hand and let me give them better feedback than they would get from Google Sheets. This may be a problem of setting on the assignment on the Google Classroom. (FFL committee)

- With Discussion Skills I give students time to prepare their ideas and opinions before class by getting them to write and share before the main discussion practice in class. This gives weaker students more confidence and helps class run more smoothly.

- Unlike the Communication Skills textbook, which was made specifically for the CS class, the textbook for Discussion Skills is old and dated. A new textbook, hopefully one made for Discussion Skills would be better.

- 秋学期は、テキスト内容について、個々の学生の考えやグループワークの発表の時間を多く取る予定です。

- 学生の理解度をできるだけきめ細かくチェックするために、隔週で小テストを実施しました。今学期はこの点について学生の評価も向上したようです。

・クラスメートの意見をもっと知りたかったという要望があったので、ペアワークを入れるようにしました。

・学生の皆さんは12月のTOEIC IPテストについて、とても心配しております。前期もテキスト以外のプリントを準備し、TOEICテストのPart 5-7に取り組む際にも役立つ応用力を伸ばせるように工夫いたしました。後期も副教材を準備し、総合的な英語力向上を目指してまいります。

・教科書の内容にとどまらず、それに関連する、最新の英語ニュースなどを教材として取り入れるよう心掛けています。今年度は久しぶりに2年生のクラスを担当し、同じクラスでも学生の英語力（とやる気）に差があり、そのあたりで授業運営が難しかったです。結果として平均よりやや下に照準を置いて授業を行ってしまったが、やる気のある学生にとって物足りないものとなってしまったらうと反省します。

・ある専攻の特定の授業の推奨教科書の内容が簡単すぎると思う。見直しをお願いしたい。

→2022年度入学生より、レベル毎のクラス数を改訂いたしましたので、2023年度以降は問題が解消されることを期待しています。（第一外国語運営委員会）

・多読のレポートの様式を少し変える予定です。

・ Each person brought their favorite book and read it at the beginning of the class.

・ 訳読中心のクラスで学びの実感が乏しいという趣旨のコメントが見られました。現在、必修科目の授業を Four Strands (meaning focused input, meaning focused output, language focused learning, and fluency development) で組み立てることができるようカリキュラム改訂を進めています。科目担当者対象の研修の機会も持ちたいと考えています。（第一外国語運営委員会）

・ 文法等の説明を増やして欲しい、小テストに十分な時間を取って欲しいなどの要望に対して、担当者としては学期中に質問・コメントしてもらえれば対処できたという気持ちが強いです。Google Classroom の課題などに、「担当者知らせたいこと」のような自由記述欄を作っておくと、随時有益なフィードバックが得られると思います。（第一外国語運営委員会）

・ Include more frequent mini-debates for students to engage in so that they can get used to the this style of speaking. In addition, watch a debate video together and discuss what we notice (good points, points for improvement).

・ I realized that I should revisit how to give out-of-class assignments.

・ This was my first semester to teach at TWCU. I believe I missed the mark in terms of level of instruction. The students were better than I thought. I will change the textbook and make a more challenging course.

・ I think that it is important to spend more time with students individually as much as time allows.

・ 可能な限り、実践的な答案作成に役立つ授業を心がけています。

・ Having instructions both written and said out loud helped with comprehension.

・ I feel that the last two years of home study due to COVID has influenced the students to be a bit quieter, a bit shy in class. I am trying various strategies to help energize classroom conversations, such as giving the students a minute to formulate questions and then requesting that they ask them, rather than simply saying "does anyone have any questions?" and moving on.

・ I agree that learning vocabulary is important and that quizzes help students engage in learning. On the other hand, I am not sure that teacher-prepared vocabulary lists are necessary because each unit has a vocabulary list. Quizzes covered vocabulary from 2 units at a time, and the vocabulary was listed on 1 page in each of the units. In addition, I encourage students to make flashcards or lists by themselves because this process will help them spend time with the vocabulary (looking at the word, thinking about it, translating it, writing it = spelling it out, and creating a sample sentence). Examples of how to create flashcards are shared in Google Classroom. Finally, I encourage students to talk (or write) to me during the semester. I encourage them to ask questions and place requests. I would like to remind them to remember that it is too late if they do it after the course has ended.

■検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	第二外国語運営委員会
■責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	白井恵一
■検討会実施日	2023 年 4 月 12 日
■出席者数 (内、非常勤講師数)	6 名 (0 名)

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

- ・復習用のプリント（語学、手書きで書きこんで提出するもの）が「毎回」課されていたのが学習に役立った、という意見が多くありました。反復練習を定期的に行うよう促すツールは、今後も工夫して取り入れていきます。
- ・質問に丁寧に対応してもらえてよかった、という意見がありました。遠隔授業の経験も踏まえメール等での質問対応も取り入れたところでしたが、今後も適切な応答ができるよう方法を考慮していきます。
- ・授業内の隙間時間（ブレイク）を利用し当該言語（第二外国語）の豆知識やその国・地域の様子を写真などで紹介したことに対し、「言語だけでなくその地域の文化にも関心を持つことができた」という感想が複数寄せられました。言語の学習・トレーニングを中心としながらも、背景にある文化に関心を持ってもらえるよう、話題の提供や紹介を今後も工夫していきます。
- ・発音の練習を積極的にやってもらえたので、自分の発音もよくなったと感じる、という感想がありました。授業の場を今後も活かし、学生たちに発音練習させる場をしっかりと確保していきます。
- ・「発音練習の際、よくできて声も大きい人がいるせいで、全員が出来ているようにとらえられ、できていない人が置いていかれているように感じた。」→教員自身も心当たりがあったが、なかなかその場では何もできないでいたので申し訳なく思っています。今後は少数または個別の発音指導を多く取り入れるようにします。
- ・「課題が多かった。」→なるべくたくさん学んでほしい気持ちから、少し課題が多かったかもしれません。今後は学生の様子を見ながら調整したいと思います。
- ・「グループワークの際にメンバーが固まってしまっていたので、もっといろいろな人と交流したかった。」→2022 年度前期は対面に戻ったばかりで、コロナ対策も考えて授業中になるべく席の移動をしない方がいいと考えたため、毎回近くの人とのグループを組んでもらっていました。現在はコロナ対策が緩和される中で、グループメンバーを毎回変えるようにしています。
- ・授業中に観せたファンタジー映画について「苦手なジャンルなので配慮してほしい」という意見がありました。教員としては「やばいシーン」の前に「はい、目を閉じてね」と告知、「やばいシーン」が終わったら「はい、もういいです」というふうに配慮はしておりました。それでも「配慮が足りない」と言われましたので、今後は、映画は観せないという配慮をしたいと思えます。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- ・復習用のプリントには未習の語句をたくさん入れないでほしい、混乱してしまう、という意見がありました。教科書の範囲のとどまらない若干発展的な学びも促そうとしてのことでしたが、学習のポイントが絞りにくくなってしまったケースもあったようです。今後は、未習内容の盛り込みは多くし

過ぎないようにし、取り扱う場合は注釈等をつけるように工夫していきます。

- ・授業内の隙間時間（ブレイク）に扱われる話題が真面目過ぎてつまらない、もっと学生が興味ある身近なものにしてほしい、という意見がありました。語学や文化理解に資する範囲内で、学生の関心にも応じて話題の選択はよく考えるように工夫します。

- ・遠隔授業の間に Google Classroom を活用していたので、対面授業になってからも Classroom を通じて課題のやり取りや小テストなどを実施しています。1人1人の経過が手元に残るので、より細かい指導が可能になり、学生も課題をやりながらの質問がしやすくなったのではないかと思います。

■ 検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	日本語科目運営委員会
■ 責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	丸山直子
■ 検討会実施日	2022 年 10 月 23 日～11 月 7 日
■ 出席者数 (内、非常勤講師数)	5 名 (4 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

- ・今回、要望は寄せられませんでしたでしたが、授業を受けても学習成果を感じた方が例年より少なかったのもう少し技術的な観点からの説明が必要だったのではないかと考えております。
- ・「先生が生徒の課題を点検する機会をもっと増やして頂きたかった」という要望がありました。500 字および 1000 字課題は個別に添削をし、改善点やループリックと共に返却をしています。その上で授業においては全体に向けた解説も行っていますし、Google Classroom なども利用して随時質問も受け付けています。また、最終の 2000 字課題についても、希望する履修者には添削したものを返却しています。具体的な案についての記載はなく、どのようなフィードバックを求めていたのか不明確ですが、これ以上の方法が可能か検討します。
- ・この授業を受講したことで、「文章能力だけでなく、出典の書き方や、口頭発表での注意点など大学に必要なスキルを身に付けることができました」という意見がありました。この授業の目的を理解し、自学も含めてよく学習されたのだと推察します。今後の学生生活、そして社会生活でも本授業で学んだことを活かしてください。
- ・毎回の授業の内容をプリントではなく、テキスト (書籍) にしてほしいという要望がありました。クラスの理解状況に合わせ、毎回改訂を重ね、プリントを作成しております。現在はプリントを電子化して配布しておりますが、今後検討してまいります。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- ・レポートに対する添削でフィードバックとするやり方はそのままに、要約の方法や文章表現、口頭表現のテクニックの説明を今以上に取り入れることで、学習成果を感じられるようにしたいと考えています。また、テーマを決めるために時間を多く割いているので、家庭学習を多く取り入れて授業内での作業を減らすようにしたいと思います。
- ・授業評価で平均よりも低かったのは、シラバス通りであったかの問いでした。シラバスに書かれている目標 (授業のねらい) や課題 (字数) などは変更しておりませんが、学生の教室での様子や提出された文章から判断して、必要と思う教材や授業の進め方をその都度工夫していました。今後も眼前の学生を見ながら必要と思われる工夫を重ねてみたいと思います。
- ・今年度は対面での実施でしたが、資料の配布や課題の提出においては Google Classroom を利用しました。これによって、事前の予習、欠席した際の授業内容および注意事項の確認をすることができ、更には質問を随時受け付けることもできました。今後もこうした機能を活用していきたいと思います。
- ・学生からの要望は特にございませんでしたが、お互いに添削し合う、共同推敲の機会を増やしていきたいと思います。

■検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	情報処理教育運営委員会
■責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	春名 太一
■検討会実施日	2022 年 10 月 26 日
■出席者数 (内、非常勤講師数)	5 名 (0 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

ある授業に対して「今まで知らず、遠回りして行っていたものが教えていただいた技ではやく進められるようになった。」という意見をいただきました。この授業内では、コンピュータを用いた学習に役立つ基本的な知識を紹介しています。ICT 技術の発展に対応できるよう、適切な内容になるよう検討していきます。

ある授業に対して「話している内容が少し聞き取りにくいことがあった。」という意見をいただきました。授業内に予定の内容が消化できそうにないと早口になってしまうことがあります。今後は、無理のない量の内容を準備することに気をつけ、時間的に余裕のある授業運営を行うことに取り組みます。

ある授業に対して「実習の行い方が予めスライドにまとめられていたので分からなくなってもスライドをみて振り返ることができた点が大変役に立った。今後も授業内容のスライドを予め配信してもらえると嬉しい。」という意見をいただきました。大人数の実習を伴う授業においては、どうしても受講者間で作業のスピードに差が出てしまいます。すべての受講者を取り残すことがないように、資料の準備には今後も力を入れていきます。

履修者の方から、「良かった点は、作業する時に、先生ご自身が回って下さり、積極的に教えてくださったこと」とのコメントをいただいた授業がありました。これからも、作業をするときは、教室をまわり、声掛けをしたいと思います。

「実践する際、わからないことを直接質問できるところが良かった」という意見をいただいた授業がありました。実践の際に直接教室を回って質問を受け付けていくことは、学生の皆さんの状況を把握するうえでも重要と考えているので、今後も続けていきます。

「丁寧な指導と質問回答してくれた」という意見をいただいた授業がありました。今後できるだけ丁寧に質問には対応していきたいと考えています。

「課題が多すぎる気がする」という意見をいただいた授業がありました。この授業では、授業時間外で課している課題は 2 つなので、他のクラスと比べても多いとは言えないと考えています。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

「話すスピードが速くて演習についていけないことがあった」という意見をいただいた授業がありました。早口になりがちかもしれないので、早口にならないよう心がけます。

「Wordなどの使い方を一気に説明してから学生がやってみるという形が難しかったので、1つ1つ進められるようにしてほしい」という意見をいただいた授業がありました。授業時間を考えると難しい面はありますが、演習のやり方の工夫を考えてみます。

ある授業では、C言語でプログラムを書く実習を行ったり、課題を出したりします。以前は、授業内容に関するサンプルプログラムはあらかじめ配布していたものの、実習や課題で書くプログラムそのものは受講者に何も無いところから書いてもらっていたため、最初はまったく手につかない受講者も散見されました。そこで、実習や課題で書くプログラムの一部を穴埋め式にし、実習や課題により取り組みやすくなるようにしました。

2022 年度前期「学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2022 年 12 月 22 日

■ 検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	教職課程運営委員会
■ 責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	教職課程運営委員長 大家まゆみ
■ 検討会実施日	2022 年 11 月 30 日
■ 出席者数 (内、非常勤講師数)	3 名 (0 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

・「資料を直接配布してもらいたかった」との声がありました。その方が効率的なので、印刷したものを一斉に配布したいところですが、感染症の状況が落ち着くまでは、Google Classroom で配布した資料を各自がプリントアウトするというやり方を併用せざるを得ません。状況の変化に合わせて柔軟に対応したいと思います。

・「毎回、授業の資料をカラー印刷して配布してもらえて、とてもよかった」という感想がありました。特に表やグラフ、写真、画像などはカラー印刷の方が白黒印刷よりも、知覚しやすくよく見えて、理解が深まりやすいです。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

・昨年度は「授業の資料を Web Class などから配布してほしい」という要望を受けたため、今年度は、対面授業の時期であっても、Google Classroom から PDF ファイルを配信しました。しかし今年度は「授業内で印刷物として資料を配布してほしい」という声がありました。2022 年度前期はコロナウイルス感染拡大と収束の時期が繰り返されたため、学期の途中まで遠隔授業、途中から対面授業、そして授業によっては再び遠隔授業と授業形態が切り替わりました。そのため、印刷物を用意しても授業形態が変更になったり、教室内で大勢の履修学生が配布物を手で触ると、コロナウイルス感染拡大の恐れがあったりしたため、必ずしも要望に応えることができない事情がありました。基本的に対面授業で行う場合は、できるだけ履修者の便宜を図るために印刷物を配布するようにします。

・1 年次の履修者が大半の当授業は、教職課程の履修プロセス全体とより有機的に接続していけるよう工夫していく必要があると考えています。さしあたって履修カルテの記入欄 (教職課程開始時のそれ) と当授業の期末レポート課題の内容をうまく連動させることを現在思案中です。

・授業でのディスカッションでは「少人数での話し合い活動が楽しかった」という声があった一方で、「自分のグループは静かな人が多く、ほかのグループのように盛り上がらなかった。」という声もありました。ほぼ 2 年間で遠隔授業で行ったため、話し合う活動自体がとても新鮮だったと感じる学生が多い一方で、初対面の履修者同士で、何をどう話したらよいのか、2 年間のブランクは大きいと感じる学生もいたようです。今後は対面授業が基本になりますので、グループディスカッションの時は様子を見ながら、適宜、教員が介入したり、時間制限を延長したり短くしたりしたいと思います。

2022 年度前期「学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2022 年 11 月 21 日

■検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)	学芸員課程運営委員会
■責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)	運営委員長 高橋 修
■検討会実施日	2022 年 10 月 31 日
■出席者数 (内、非常勤講師数)	3 名 (2 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

○定期試験実施に関する告知が遅れたことについて意見が出されました。今後は、試験の実施方法・時期等について授業内で知らせると共に、Google Classroom 等を介して、一斉にお伝えすることとします。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- 対面形式の授業に戻ったことに伴い、リアクションペーパーを活用し、随時、学生の授業理解の度合いを把握するように努めています。実際にアンケートからも、リアクションペーパーを介して出した課題が「知識の定着」に役立ったとの回答がなされました。
- 授業資料も事前に Google Classroom を介してデータ送付し、予習できるように配慮しました。このことで、アンケートからも、授業内容に興味を持つことが出来たとの回答がなされました。